

近世国学と鷲見文庫—東洋大学附属図書館蔵稲葉文庫目録と研究1

文学研究科国文学専攻博士後期課程満期退学 大内 瑞恵

一 山本嘉将氏コレクション 稲葉文庫

東洋大学附属図書館に山本嘉将氏（一九〇八—一九九二）の旧蔵書（近代資料を含む）一三三三点が稲葉（とうよう）文庫の名称で蔵せられている。氏は『香川景樹論』（一九四二年 育英書院）、『近世和歌史論』（一九五八年 文京図書出版、一九九二年 パルトス社再版）、『加納諸平の研究』（一九六一年 初音書房）、『賀茂真淵論』（一九六三年 初音書房）などを出版し、未だ研究の進展していない近世後期和歌研究に先鞭をつけた研究者かつ、歌人である。『加納諸平の研究』序に、昭和三十四年（一九五九）に東洋大学に博士論文『加納諸平の研究』を提出し、三十五年に学位授与式が行われたことが記されている。この縁から東洋大学附属図書館に稲葉文庫が置かれたが、この蔵書には氏のなみなみならぬ蒐書と研究への熱意が如実にあらわれている。そして、そのままこの蔵書は近世和歌の貴重な資料群となつているといえよう。

稲葉文庫は、（一）香川景樹関連書目、（二）加納諸平関連書目、

（三）鳥取藩鷲見家関連資料などから構成されている。なかでも、江戸時代後期の鳥取藩の国学・和歌資料として写本や書簡が多く含まれ、本居宣長没後の国学者たちの動向が示されている点など、興味深い資料が多い。江戸後期国学者および鳥取藩関係者の書簡、およそ三百五十点が稲葉文庫に蔵されていることは注目される点である。

そのため、東洋大学に稲葉文庫が収蔵される以前、昭和五十年（一九七五）七月に稲葉文庫（山本家）へ国文学研究資料館が調査に入り、六三五点の資料の撮影が行われた。現在、そのマイクロフィルムは、国文学研究資料館において公開されており、閲覧が可能である。ただし、現在東洋大学附属図書館で所蔵する稲葉文庫このマイクロフィルムの内容が完全に合致しているかという点、そうではなく、国文学研究資料館のマイクロフィルムでのみ確認される資料、東洋大学附属図書館蔵稲葉文庫でのみ確認される資料なども存する。昭和五十年以後に、山本氏が手放された資料、また新たに

入手された資料などがあるということであろう。

二 鷺見文庫

稲葉文庫の特色の一つに、鳥取歌人の資料群がある。なかでも、鷺見家関連資料が多く、これは鷺見文庫の一部であろうと考えられる。鷺見文庫とは鳥取藩池田家に仕えた鷺見家伝来の資料である。山本嘉将氏は前述『近世和歌史論』などにおいて、この鷺見家の文庫の一部を紹介しておられたが、五十年を経て各地の資料や国学者達の動向が明らかになるにつれて、その位置付けを見直す時期に入っているといえるだろう。

江戸時代後期、十八世紀から十九世紀にかけて活躍した鷺見保明、安喜の父子は和歌・国学に熱心で、各地の国学者・歌人と交流を持っていた。鷺見安喜はのちに「安歌」と表記を改めるが、本稿では「安喜」の表記で統一することとする。

『和歌文学大辞典』（二〇一四年 古典ライブラリー）に鷺見保明・安喜父子は次のように記述される。

○保明 やすあきら〔江戸時代後期歌人〕

鷺見。名は慶明・休明とも。字は子休。通称は新助・権之丞。号淡成舎・忘言亭。寛延三（一七五〇）年〜文化五（一八〇八）年一月八日、五九歳。鳥取藩士。安藤箕山に漢学を、両親に

歌学と和歌を学ぶ。衣川長秋らと交遊を結ぶ。『鷺見翁家集稿』『鷺見休明遺稿』『鷺見慶明詠草』など。九州大学文学部に草稿

類が残る。（白石良夫）

○安喜 やすよし〔江戸時代後期歌人〕

鷺見。幼名、保喜。晩年は安歌と称す。通称、勘解由。天明四（一七八四）年五月二十六日〜弘化四（一八四七）年三月二三日、六四歳。休明の長子。鳥取藩士。一六歳で尚徳館に出仕し、教鞭を執る。儒学を学び、また衣川長秋に師事し国典に詳しくかった。藩政担当の傍ら、国学和歌併修に努め、本居大平・加納諸平・伴信友をはじめ多くの学者と交流があり、殊に紀州の諸平とは、ともに自藩内に国学館の設立を企図するなど親交が深かった。父休明の遺稿を『鷺見翁家集』としてまとめた他、『かたこと歌』五十数冊を初めとする多くの草稿類が残る。【参考文献】『近世和歌史論』山本嘉将（文教図書出版 一九五八、復刻 パルトス社 一九九二）（高松亮太）

さて、両解説に見られるように、この父子には草稿が多く残されているが、九州大学文学部のみならず、稲葉文庫にも草稿類が残されている。たとえば、衣川長秋による添削を経た草稿などである。

保明と交遊し、安喜の師として記される衣川長秋は、明和二年（二七六五）〜文政五年（一八二二）を生きた国学者で、本居宣長・春庭を師とし、鳥取の衣川家を継ぎ、藩の国学教授となった人物である。

鷺見家の資料群は鳥取藩の文事のみならず、学問ネットワークを探るためにも興味深い資料が多い。この鷺見父子が中心となって、

集めた書籍と書簡、草稿群が鷺見文庫である。しかし、この鷺見文庫は近代に入り分散した。現在、さまざまな経緯のもとに九州大学、海上自衛隊第一術科学校教育参考館、鳥取県立博物館、鳥取県立図書館、米子市立図書館、東洋大学附属図書館などに所蔵されている。

九州大学に所蔵されている鷺見文庫の伝来については、田村隆氏「鷺見文庫点描」(二〇〇九年九州大学附属図書館研究開発室年報)に報告があり、一一七点三三七冊が九州大学に蔵せられているという。九州大学鷺見文庫は、京都の竹苞書楼から大正一五年・昭和二年にかけて購入したものであるという。和漢書が多く、近年では、白石良夫氏により「鷺見文庫書誌覚書(下)―廉齋書留より(四)」(二〇一六年『雅俗』第十五号)など具体的な書誌報告が行われつつある。

ほかに、古兵書の目録として、『古兵書目録 旧海軍兵学校教育参考館蔵野沢文庫鷺見文庫』(一九六四年 海上自衛隊第一術科学校普通学科・教材課)があり、こちらの鷺見文庫は広島県江田島市の海上自衛隊第一術科学校教育参考館に所蔵される。旧海軍兵学校における蔵書もまた京都の竹苞書楼からの購入という記録がある。ほか、藩政資料(和歌資料も含む)などが鳥取県立図書館・鳥取県立博物館に所蔵される。

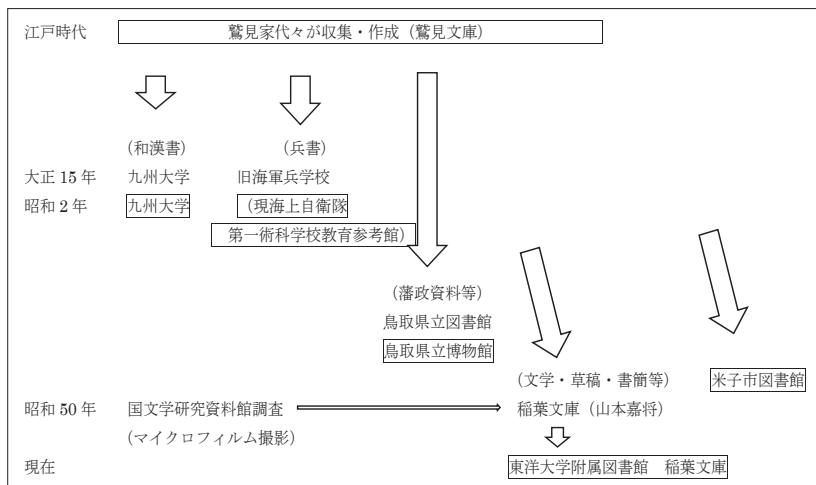
これらの調査をもとに、現時点で確認できる資料の流れは図のようになるかと考えられる。

このような広がりの中、東洋大学附属図書館蔵稲葉文庫に含ま

る鷺見文庫資料は和歌・国文学・草稿・書簡資料などが中心となっている。例えば、鳥取県立図書館に鷺見保明『吉岡の日記』が所蔵されており、鳥取市歴史博物館により翻刻され、樗谿叢書『姫君姉妹吉岡温泉滞在日記』という絵入りの本が刊行されているが、その草稿資料が稲葉文庫に蔵せられている。また、九州大学図書館蔵書と鳥取・広島に残る資料との関連性も見渡す必要がある。

このように鷺見家旧蔵資料群は各地に散在しているため、各地の資料のつながりを探ることが、そのまま江戸時代の文化的ネットワークの解明となるだろう。

二〇一三年に鳥取大学岸本覚氏・田中仁氏、鳥取県立博物館学芸員来見田博基氏などを中心に〈地方の知の系譜〉という「地域再生プロジェクト」が行われたが、現在の研究においても知の共



有・ネットワーク化が必須であろう。

現代においても、東洋大学では通信教育課程を行っているが、江戸時代からその教育指導の基本が変わらず添削にあることは、学問のありようとして興味深いといえるだろう。

稲葉文庫目録 〈近世写本・板本編〉 1

通し番号(仮)・書名・著編者(書写者)・板元 写刊年・数量・請求番号・備考(蔵書印・旧蔵者情報など)の順に記す。

- 1 稲葉和歌集 隠岐正甫ほか編、杉子春筆
明和三年(一七六六)写 1冊 TY911.17:Y-1-1 印あり
- 2 続稲葉和歌集 清水貞固ほか編、山本嘉将写、箕浦世亮
昭和四十九年(一九七四)写 1冊 TY911.17:Y-1-1-2
- 3 紅塵集類題 川島連阿編、奈良屋長兵衛
文化九年(一八一二)刊 上下2冊 TY911.17:Y-1-1-3-1~2 近代写本
- 4 紅塵集類題 葛城長兵衛
文化九年(一八一二)刊 1冊 TY911.17:Y-1-1-4
- 5 草野集 卷一~六 木村定良編、岡田屋嘉七
文政二年(一八一九)刊 6冊 TY911.17:Y-1-1-6-1~6
- 6 草野集 卷七~一二 恋上・雑下、木村定良編、岡田屋嘉七
文政五年(一八二二)刊 6冊 TY911.17:Y-1-1-7-1~6
- 7 鯨玉集 初編 加納諸平編、阪本屋源兵衛
文政十一年(一八二八)刊 1冊 TY911.17:Y-1-1-8 本多(三ツ葉)印
- 8 鯨玉集 二編 加納諸平編、阪本屋源兵衛
天保四年(一八三三)刊 1冊 TY911.17:Y-1-1-9 本多(三ツ葉)印
- 9 鯨玉集 三編 加納諸平編、阪本屋喜一郎
天保七年(一八三六)刊 1冊 TY911.17:Y-1-1-10 本多(三ツ葉)印
- 10 鯨玉集 四編 加納諸平編、阪本屋源兵衛
天保十二年(一八四一)刊 1冊 TY911.17:Y-1-1-11 本多(三ツ葉)印
- 11 鯨玉集 五編 加納諸平編、阪本屋源兵衛
弘化二年(一八四五)刊 1冊 TY911.17:Y-1-1-12 本多(三ツ葉)印
- 12 鯨玉集 六編 加納諸平編、総田屋平右エ門
嘉永四年(一八五二)刊 1冊 TY911.17:Y-1-1-13 本多(三ツ葉)印
- 13 鯨玉集 七編 加納諸平編、阪本屋源兵衛
安政元年(一八五四)刊 1冊 TY911.17:Y-1-1-14 本多(三ツ葉)印、有隣堂票
- 14 鯨玉集作者姓名録 鹿島重正編、錢屋喜十郎
水林氏蔵書 印

- 天保十年（一八三九）—天保十二年（一八四一）刊 2冊
TY911.17:Y-1:1-15 印あり
- 15 鯁玉集作者姓名録 柿園社中編、長沢伴雄跋、総田屋平右衛門
弘化二年（一八四五）刊 1冊 TY911.17:Y-1:1-17 印あり
- 16 近世名歌集類題 卷之一・卷之四、鈴木重胤、近江屋佐太郎
他6軒
天保十四年（一八四三）刊 4冊 TY911.17:Y-1:1-18:1~4
後印 肥前長崎 辰巳屋萬兵衛ほか九軒
- 17 近世名家集類題 卷之五〜卷之七、近江屋佐太郎他7軒
刊年不明 3冊 TY911.17:Y-1:1-19:1~3
- 18 鴨河集 長澤伴雄編、坂本屋喜一郎
弘化五年（一八四八）刊 上下2冊 TY911.17:Y-1:1-20:1~2
「三十屋堂記」紀州若山坂本屋喜一郎書肆印か
- 19 鴨河次郎集 長澤伴雄編、坂本屋喜一郎
嘉永三年（一八五〇）刊 上下2冊 TY911.17:Y-1:1-21:1
（上）三十屋堂記（下）坂本屋大治郎「□堂」
- 20 鴨河三郎集 長澤伴雄編、阪本屋喜一郎
嘉永四年（一八五一）刊 3冊（上卷1冊下卷2冊）
TY911.17:Y-1:1-22:1~3
- 21 鴨河四郎集 長澤伴雄編、阪本屋喜一郎
嘉永五年（一八五二）刊 上下2冊 TY911.17:Y-1:1-23:1~2
- 22 鴨河五郎集 長澤伴雄編
嘉永七年（一八五四）刊 上下2冊 TY911.17:Y-1:1-24
袋あり。（下）阪本屋喜一郎印
- 23 鶯蛙集 本居豊穎編、阪本大二郎
嘉永五年（一八五二）刊 上下2冊 TY911.17:Y-1:1-25:1~2
（下）作者姓名録
- 24 稲葉和歌集 中島宜門編、油屋仲藏
安政三年（一八五六）刊 上下2冊 TY911.17:Y-1:1-26:1~2
- 25 清渚集 熊代繁里編、阪本屋源兵衛
安政五年（一八五八）下のみ1冊 TY911.17:Y-1:1-27 作者
姓名録
- 26 千船集 佐々木弘綱輯、河内屋源七郎他11軒
万延元年（一八六〇）刊 上下2冊 TY911.17:Y-1:1-28:1~2
第 号/山岡蔵書印（下）作者姓名録
- 27 河藻集 村上忠順編、深見藤吉
文久二年（一八六二）刊 上下2冊 TY911.17:Y-1:1-29:1~2
佐々氏、蒿洋蔵書（佐々醒雪旧蔵）
- 28 千船集二編 佐々木弘綱編、河内屋源七郎
元治元年（一八六四）上下2冊 TY911.17:Y-1:1-30:1~2
- 29 桂園和歌類題集 春之部 第 号/山岡蔵書（下）作者姓名録
藤田維中編、田中良平写

- 30 桂園和歌類題集 夏之部 藤田維中編、腰山重剛写
〔天保年間か〕写 1冊 TY911.17:Y-1.1-32
- 31 桂園和歌類題集 夏之部 藤田維中編、田辺良平写
写 1冊 TY911.17:Y-1.1-33
- 32 掌中怜野集 清原雄風輯、出雲寺文次郎
文化四年（一八〇七）刊 1冊 TY911.17:Y-1.1-5 □洋秘蔵
- 33 大江戸倭歌集 蜂屋光世編、須原屋茂兵衛・須原屋伊八
安政七年（一八六〇）—文久三年（一八六三）卷一—六 刊
3冊
TY911.17:Y-1.1-34.1 魁星印、清水□蔵書
- 34 忘言亭庭景歌 沙門芹門〔他〕
〔安永頃〕写 1冊 TY911.17:Y-1.2-1
- 35 桂葉集 菅沼斐雄編、香川景樹詠
文政元年（一八一八）写 4冊 TY911.17:Y-1.2-2.1—4
朱合点あり
- 36 桂門千首歌 景樹点 香川景樹点
文化四年（一八〇七）、文政三年（一八二〇）写 1冊
TY911.17:Y-1.2-3 浜雄蔵書印、朱合点、浜雄識語
- 37 桂花餘香 初編 氷室長翁編、香川景樹選、美濃屋清七 他六軒
〔嘉永年間〕刊 1冊 TY911.17:Y-1.2-4 自馨、澹印
朱入り、梁瀬一雄氏葉書あり
- 38 桂花餘香 氷室長翁編、美濃屋文次郎 他一軒
〔嘉永以後〕刊 1冊 TY911.17:Y-1.2-5
やとみ、寶水文庫（塩井雨江、弥富浜雄旧蔵）
- 39 かるかや集 松波資之編、額田正三郎 他四軒
〔嘉永以後〕刊 卷之上 上下2冊 TY911.17:Y-1.2-6.1—2
雨江蔵書、やとみ（塩井雨江、弥富浜雄旧蔵）
- 40 いな葉の秋 隠岐正甫判
文政元年（一八一八）写 1冊 TY911.17:Y-2.1-1
- 41 歌合詠草 松楼軒芹門判、香川景樹詠
写 1冊 TY911.17:Y-2.1-2
- 42 十五番歌合 香川景樹、伴高蹊評
写 1冊 TY911.17:Y-2.1-3 浜雄蔵書（弥富浜雄旧蔵）
- 43 五番歌結 景樹阿元〔歌合〕、〔木下幸文判〕
写 1冊 TY911.17:Y-2.1-4 * 竹柏園文庫（佐々木信綱旧蔵書）
- 44 長福寺尼君自歌合 香川景樹判、尼君〔自筆〕、
写 1冊 TY911.17:Y-2.1-5
- 45 景樹喬枝歌合 藤原正臣判、三位中将公純〔写〕
天保十一年（一八四〇）写 1冊 TY911.17:Y-2.1-6 浜雄蔵書（弥富浜雄旧蔵）
- 46 都鄙五十番歌結 香川景樹判
文化三年（一八〇六）写 1冊 TY911.17:Y-2.1-7 佐々木

- 47 薄こほり 香川景樹判
 文化十二年(一八二五)写 1冊 TY911.17:Y-2:1-8
 「北総殖生郡／押畑村山口／惣右衛門記」
- 48 薄こほり 香川景樹判 「出雲寺文次郎」
 刊1冊 TY911.17:Y-2:1-9 やとみ、雨江蔵書
- 49 六十四番歌結 香川景樹判、出雲寺文次郎他三軒
 嘉永三年(一八五〇)刊 1冊 TY911.17:Y-2:1-10 蔦廼屋
 文庫 (弥富浜雄、塩井雨江旧蔵書)後印本
- 50 六十四番歌結 全 香川景樹判、しきしま発行所
 明治二十五年(一八九二)活版 1冊 TY911.17:Y-2:1-11
 六十四番歌結
- 51 刊 1冊 TY911.17:Y-2:1-12 やとみ、賓水珍藏
 後装、嘉永版の後印か、(弥富浜雄旧蔵)
- 52 五十四番歌合 香川景樹判
 文化十四年(一八一七)写 1冊 TY911.17:Y-2:1-13
 浜雄蔵書、浜雄蔵書、賓水珍藏 (弥富浜雄旧蔵)
- 53 五捨四番歌結 完 桂園大人判
 写 1冊 TY911.17:Y-2:1-14 (*竹柏園文庫)佐々木信綱
 書写本か (山本メモ)、「弘化三年の水無月 景周」序「文化の十四年
- 54 香川景樹判八番歌合 中島広足、青木永章作
 写1冊 TY911.17:Y-2:1-15 弥富浜雄蔵書(弥富浜雄旧蔵)
- 55 文合 藤井高尚訂正加筆判詞
 写1冊 TY911.17:Y-2:1-16
- 56 八番歌合 飯田秀雄判、飯田年平筆
 天保十年(一八四〇)写 1冊 TY911.17:Y-2:1-17 鷺見氏
 と飯田氏の歌合
- 57 歌合 小谷古蔭判 写1冊 TY911.17:Y-2:1-18
 「二十番歌合」 木下幸文か
- 58 写1冊 TY911.17:Y-2:1-19 題「田家夏月」向峯・義質・雅
 典ら数名
- 59 拾番歌合 中島宜門判
 写1冊 TY911.17:Y-2:1-20 題「余花」懐之ほか地方歌人
- 60 十六番哥合
 写1冊 TY911.17:Y-2:1-21 地方幕末歌人、判者不明
- 61 浦千鳥 石野利幸判
 文化七年(二八一〇)写 1冊 TY911.17:Y-2:1-22
 石野利幸門人歌合
- 62 行幸次第 御歌会和歌六十首
 写 1巻(仮巻) TY911.17:Y-2:2-1 二条城行幸次第

- 63 内裏御当座三十首和歌 「森川章尹筆」
延享三年（一七四六）写 1冊 TY911.17:Y-2:2-2 章尹書簡参照
- 64 延享三丙寅年三朝陪新玉津島社各祝詞廻和歌
延享三年（一七四六）写（仮綴）1冊 TY911.17:Y-2:2-3 章題と最終丁追加書入は森川章尹筆
- 65 宝曆四年和歌集 「花流矩正」
写（仮綴）1冊 TY911.17:Y-2:2-4 花流と矩正の和歌
- 66 璞質集「ほか」 鷺見慶明「輯」
写（仮綴）1冊 TY911.17:Y-2:2-5 安永三六月、明和四年月次会、檀梧淵獻中秋下旬於織田氏當座即詠（山内弘臺・織田隆巴・鷺見慶明・渡屋庸貞）、慶明筆
- 67 呉竹集 鷺見慶明「輯」
写 1冊 TY911.17:Y-2:2-6 印あり 明和五年、明和六年、明和五年以前、明和八年の歌会和歌集
「月見会詠草」
天明二年（一七八二）写（懐紙ニツ折〈豎書〉）自筆詠草、仮綴）1葉
- 68 天明二年（一七八二）写（懐紙ニツ折〈豎書〉）自筆詠草、仮綴）1葉
- 69 「梯子霧」 香川景平ほか「作」1冊 写（仮綴）、TY911.17:Y-2:2-8 浜雄蔵書 歌題『梯上霧（かけはしのうえのきり）』、梅
- 70 筑波嶺残雪 芳宜園哥會始
写（仮巻紙）1冊 TY911.17:Y-2:2-9
- 71 「五十賀勸進歌」
写（仮巻紙）1冊TY911.17:Y-2:2-10 松平定永以下27名歌会、松平定信五十賀
- 72 「仁徳院追善勸進和歌」 「鷺見歌枝編筆」、一一五
寛政十一年（一七九九）写（仮綴・双葉列帖装）5冊
TY911.17:Y-2:2-11:1~5
①外題「追善勸進和歌 春懐旧」、隠岐正甫 ②外題「江戸廻り」、内題「仁徳院追善勸進和歌」歌題「春懐旧」、荒尾千葉之助 幸就ほか ③外題「春懐旧 周防歌 歌残らず」、内題「あつまり歌十首 箕浦文蔵保敬」「隠岐連中五首 隠岐半平正甫」「石野連中 石野六兵衛利孝」「伯洲米子あるま り 織田市左衛門隆邑」 ④外題「手向歌 家内」、歌題「なむあみた仏」寿仙、「なむめうほうれむけきやう」、「春懐旧」保喜ほか四名 ⑤外題「仁徳院江 奉手向和歌 春懐旧の歌」
- 73 寅のとし百千鳥
「天保元年（一八三〇）」写（仮綴・懐紙ニツ折）1冊
TY911.17:Y-2:2-12 内題「寅のとし 百千鳥のうとし」

- 74 鷺見會集 文政七甲正月より 鷺見安喜筆
 文政七年（一八二四）写（仮綴） 1冊 TY911.17.Y-2-2-13
 外題「文政七甲 鷺見會集 正月より」、鷺見安喜ほか数人による歌会詠草
- 75 柿園詠草 天保五年月次詠草 柿園主人書
 天保五年（一八三四）写（仮綴） 1冊 TY911.17.Y-2-2-14
 諸平自筆本を日高新報原稿用紙（ペン書）に写したものの、表紙書入「昭和四年七月十日寫之」「御坊市井上豊太郎氏より寄贈を受く。御坊水害によりかく汚損せるも珍重すべき資料なり。」
- 76 春日詠花下言志歌
 写（仮綴） 1冊 TY911.17.Y-2-2-15
 外題「嘉永四年三月廿五日會」、内題「嘉永四年三月廿五日會 題者（白井）治堅／發聲 古蔭」「春日詠花下言志歌 二首」藤原秀雄ほか。飯田秀雄の長寿を寿ぐ歌会
 庭中三十六景和歌 村瀬鎮栄ほか
 「安永六年（一七七七）」写（袋綴） 1冊 TY911.17.Y-2-3-1
 絵入
- 77 五十首和哥
 写（仮綴） 1冊 TY911.17.Y-2-3-2
 芦門、鷺見歌枝など。雲州、母里、安来などの伯洲米子の歌会記録。合点あり。
- 78 五十首和哥
 写（仮綴） 1冊 TY911.17.Y-2-3-2
 芦門、鷺見歌枝など。雲州、母里、安来などの伯洲米子の歌会記録。合点あり。
- 79 頼阿百首題 頼阿
 写（仮綴） 1冊 TY911.17.Y-2-3-3
 春15夏10秋15冬10の五十首。山本メモ「明和のころ、頼阿の五字題による作歌の練習の行われた一例とする。巻頭「遙峯帯晚霞／長閑しないつしか春といふ聞くれかすみに匂ふ遠の山々」
- 80 花百五十首 平田屋土佐女
 天明三年（一七八三）写（袋綴） 1冊 TY911.17.Y-2-3-4
 印あり
- 81 「詠草」堀河百首題詠草 隠岐正甫
 写（袋綴） 1冊 TY911.17.Y-2-3-5
 巻頭「年内立春」ほか、後半に「堀河院太郎百首／隠岐正甫詠之」
- 82 正甫老後百首 隠岐正甫
 写（仮綴、紙釘装） 1冊 TY911.17.Y-2-3-6
 隠岐正甫自筆
- 83 「藤川百首題詠草」 荒尾礼就ほか
 寛政四年（一七九二）頃写 乾坤 2冊 TY911.17.Y-2-3-7-1～2
 写（袋綴）、山本嘉将氏書写、奥村純徳資料
- 84 千蔭春海二家百首 橘千蔭、平晴海、前田夏蔭筆
 「寛政十二年（一八〇〇）」写（袋綴） 2冊
 TY911.17.Y-2-3-8
 浜雄蔵書、印不明、秋邨、金花園 明治四十五年弥富浜雄書

- 入あり。 國學院雑誌十六卷、11、12参照
- 85 二時百首 香川景樹
 享和二年（一八〇二）1冊 TY911.17:Y-2:3-10 写真紙焼、天理大学蔵書卷の写真紙焼
- 86 堀河院太郎百首 池田美津子
 文化二年（一八〇五）写（仮綴）1冊 TY911.17:Y-2:3-11
 池田美津子は因州侯池田治道女。山本資料「鳥取藩主 池田治道侯の「三人の娘」添付
- 87 堀河院太郎百首 池田庸子筆
 文化二年（一八〇五）写（仮綴）1冊 TY911.17:Y-2:3-12
 池田庸子は因州侯池田治道女。山本資料「鳥取藩主 池田治道侯の「三人の娘」添付
- 88 堀川百首の題にてよめる歌 鷺見安喜
 写（仮綴）1冊 TY911.17:Y-2:3-13
 三冊合綴、鷺見安喜草稿。山本メモ「推敲のため三度稿を改稿。第二稿衣川長秋点 文政四年成立」
- 89 隅田川百首 橘仙筆
 天保十二年（一八四一）写（袋綴）1冊 TY911.17:Y-2:3-14
 西橋蔵書印、明治二十年西橋鷺月の識語あり。橘仙（ひさし）自筆、斎藤彦麻呂門人。
- 90 詠百首和歌 児山紀成、弥富浜雄写
 写（仮綴）1冊 TY911.17:Y-2:3-15 浜雄蔵書
- 91 詠草拔萃 四季恋雜百首 香川景周
 写真紙焼 1冊 TY911.17:Y-2:3-16 天理大学蔵書卷の写真紙焼
- 92 香川景恒百首、弥富浜雄写
 写（仮綴）原稿用紙 1冊 TY911.17:Y-2:3-17 山本メモ「景周百首に景樹が・〇等を附し添削せしものを拔萃 弥富氏筆ナルニヨリ、特ニ文庫ニ加ウ」
- 93 石園集 飯田年平著、宮原積序、足立正声拔、吉川半七
 明治十七年（一八八五）刊 上下2冊 TY911.17:Y-3:1-1
 序「因幡 海宇宮原積撰」
- 94 樟齋集全 飯田秀雄著、小林大茂序、飯田年平拔、飯田年平
 明治九年（一八七六）刊 1冊 TY911.17:Y-3:2
 印あり 因幡飯田秀雄遺稿
- 95 調鶴集 「井上文雄著」
 「慶応二年（一八六六）」刊 上中下3冊 TY911.17:Y-3:3-1～3
- 96 続草徑集 大隈言道
 「慶応四年（一八六八）」写真紙焼 1冊 TY911.17:Y-3:4
 竹柏園旧蔵、現天理図書館蔵、言道自筆稿本の写真紙焼。山本氏の書入多数。洋装本に製本。
- 97 近古雜歌
 「文政三年（一八一〇）」写（修補）1冊 TY911.17:Y-3:5

- 98 やとみ印（弥富浜雄旧蔵）。「文政元—三年の詠草を抜萃。景樹自筆を以て所々訂正付点。『近古雑歌』の文字も景樹自筆。〔文政十年詠草〕」
 「文政十二年（一八二八）」写（修補）1冊 TY911.17.Y:3:6
 朱点景樹自筆。やとみ印（弥富浜雄旧蔵）
- 99 「桂園一枝案」 「香川景樹」
 「文政十二年（一八二八）」写（修補）1冊 TY911.17.Y:3:7
 やとみ印（弥富浜雄旧蔵）。山本メモ「景樹の自筆による訂正多し」
- 100 桂園和歌集、桂園翁歌留 香川景樹
 写（修補）1冊 TY911.17.Y:3:8 やとみ印
 「桂園翁歌留」「桂園和歌集」の合。山本メモ「景樹詠七十首。家集刊行以前らしいが、年次不詳。年記不明のため「桂園遺稿」の刊本に加えなかった由の弥富浜雄の識語巻頭にあり」
 「桂園和歌集 書名は内題による 家集以後の天保初年のころの詠歌をぬいたもの これに景樹自筆で加点と添削が行われ、その作品は「後園拾葉」の料となっている 天保年間成」
- 101 大人御歌留 香川景樹作
 天保元年（一八三〇）写（修補）1冊 TY911.17.Y:3:9
 やとみ印（弥富浜雄旧蔵）。景樹自筆推敲
- 102 桂園一枝下案 香川景樹詠、香川景恒編・筆、渡忠秋校・筆
- 103 桂園一枝 梅月堂景樹先生集 「香川景樹著」 須原屋茂兵衛、和泉屋庄治郎
 文政十三年（一八三〇）雪月花3冊 TY911.17.Y:3:11-3
 高崎蔵書版。高崎正風旧蔵書。
- 104 桂園一枝 梅月堂景樹先生集 「香川景樹」、須原屋茂兵衛
 天保六年（一八三五）刊 1冊 天保六年版三冊を一冊に合冊。TY911.17.Y:3:12 「植金松園図書収蔵」「植松季保図書之記」
- 105 掌中桂園一枝 香川景樹
 天保十一年（一八四〇）刊 1冊 TY911.17.Y:3:13 印あり
 天保十一才羅垣蔵板。
 表紙書入「山本嘉将君桂園大人を研究さるゝを聞き之を謹んで呈す 隆彦」。
- 106 桂の落葉 香川景樹大人歌集 香川景樹著、仲田顯忠校、青雲堂英文蔵
 天保十四年（一八四三）刊 上下2冊 TY911.17.Y:3:141-2

- やとみ印 (弥富浜雄旧蔵)。
- 107 桂の落葉 香川景樹大人歌集 香川景樹著、仲田顯忠校、青雲堂英文蔵
天保十四年 (一八四三) 刊 上下2冊 TY911.17.Y-3:15-1~2
野々村印。天保十四年版の後刷。
- 108 桂の落葉 二編 香川景樹著、仲田顯忠校訂、萬屋忠蔵
嘉永三年 (一八五〇) 上下2冊 TY911.17.Y-3:16-1~2
鹽井蔵書、やとみ印 (弥富浜雄旧蔵)。「塩井雨江、手沢本 (自筆メモ)」山本メモによるが自筆メモ不審。
- 109 桂の落葉 二編 香川景樹著、仲田顯忠校訂、山城屋佐兵衛
嘉永三年 (一八五〇) 上下2冊 TY911.17.Y-3:16-3~4
野々村印
- 110 桂の落葉 三篇 [稿本] 香川景樹著、仲田顯忠輯、
写真紙焼1冊 TY911.17.Y-3:17 天理大学蔵本 (仲田顯忠
自筆本) の写真紙焼。
- 111 桂園聚葉 雑之部 藤田維中編、田辺良平写
明治二十九年 (一八九七) 写 (袋綴) 1冊 TY911.17.Y-3:18 「東田之記」印。表紙に「五冊の内」。巻末「この書は桂園翁の門人にて特に翁と親しかりし藤田維中ぬしの常に見聞せし歌ともをかきのこしおかれしものなり。此維中ぬしは祇園町に紅商をいとなみたるに後いたく家おとろへてこれらの書をも売しるとなせしとか。それを竹内享寿翁のをしへ子な
- りし木村清臣たのめて写されしをその弟なる木村文邦ぬしよ
りかりえてことし三月よりひま／＼に筆とり漸く八月にいた
りて写しをへしなり。もとより春夏冬雑のみにて秋と恋との
歌なかりし。是のみはをしきことにこそ 明治二十九年八月
田邊良平 (東田之記)」
- 112 桂園聚葉 餞別之部 藤田維中集、田辺良平写
[明治二十九年 (一八九六)] 写 (袋綴) 1冊 TY911.17.Y-3:19
表紙に「五冊の内」。巻頭に「藤田維中集」とあり。
- 113 桂園聚葉 冬之部 藤田維中編、田辺良平写
[明治二十九年 (一八九六)] 写 (袋綴) 1冊
TY911.17.Y-3:20
表紙に「五冊の内」
- 114 桂園聚葉 冬之部 藤田維中集綴
写 (袋綴) 2冊 TY911.17.Y-3:21-1~2 「遠藤蔵書」
朱入り校合本。巻末「但藤田子之写誤ハ其儘 (ごんべんに
尽) 也後ニ師家之写モテ可改之ニテ候」
- 115 桂園餘材集 香川景樹詠、丸山辰政編、弥富濱雄写
明治三十五年 (一九〇二) 写 (袋綴) 上中下3冊
TY911.17.Y-3:22-1~3
[明治二十五年八月逐尋休晦にて帰省の節々に此字寫しつ。
原本は畠山健先生、信濃の國人より借られたるものなりとい
ふ 浜雄 (印「浜雄蔵書」)]

116

後園拾葉 香川景樹「自選」、法眼、享寿写

嘉永四年（一八五一）写（袋綴）1冊 TY911.17X-323

見返書入「弘前弥富破摩雄氏より桂園資料を譲受けしとき後園拾葉のみ他にゆづられし故 もらしたるをいと残念に思ひしを、いまこれを架蔵に加ふるを得てよろこびに堪へずなむ但し弥富本ハ四冊となりけり 翁自筆もて加筆せるものなりき。又の名を桂園後拾遺集といひしものにて、鈴鹿本の標題はかく記せりし。」巻末「此一巻は師の翁のみづから撰て後園拾葉となん名付られたる そは桂園一枝の後集なれば也

しかはあれと四季恋のみにして雑の歌はいまた撰出給はさりしほとに畏こくも身まかりましぬをもをしと誰かはなげかさらんこの比師の嗣なる景恒の君此後園拾葉に雑の歌を撰みそへて桂園拾遺と名付物して世にあらはし給へるはいともうれしきわざになむされどひそかに思へハ師のミ心にかかざるにしもましりぬへくや この拾葉のみこそはさる類ひならねは師のをしへをことにしたはん人々に此巻を準繩として誌たらんには歌たるおもむきをもあきらめさらめやも あなかしこ／嘉永四とせさつきのはしめの七日 法眼享壽うつし畢ぬ」「安政四とし／五月うつ 木村清（花押）／記之」「昭和十七年十一月／京都鈴鹿本をかりて寫す（嘉）／寫しもて長点を附しぬ」

117

桂園一枝拾遺 香川景樹大人集 香川景樹著、平忠秋誌

118

嘉永三年（一八五〇）刊 上巻のみ1冊 TY911.17X-324
桂園一枝拾遺部合刻 梅月堂景樹大人集 「香川景樹著」、出雲寺文次郎

119

嘉永四年（一八五一）刊 1冊 TY911.17X-325 好川、岡本氏、東塙塾藏、市橋家藏 山本メモ「掌中桂園一枝とか桂の落葉の書名を挙げてそれが杜撰な書であることを東塙塾の名に於て巻末に明記したもの。注目すべき板行である。」
畫島廻浪 香川景樹大人画讚集 香川景樹詠、村山松根編、村山資澤

120

明治十五年（一八八二）刊 上下2冊 TY911.17X-3261-2
原氏珍藏。濱松小書巢内田旭圖書。「昭和十七年二月十六日／老松園文庫」清遠樓藏版印。高崎正風大人閱並序跋。
繪島廻浪 香川景樹詠、村山松根編 弥富浜雄書写
明治三十四年写 上下2冊 TY911.17X-3271-2 浜雄藏書。弥富浜雄が板本の内容（扉・刊記をのぞき）を忠実に写したもの。「明治三十四年五月西京の旅宿にて寫す」

121

黄中詠藻 香川景柄詠、平景嗣編
嘉永四年（一八五一）刊 元・貞4冊 TY911.17X-3281-4

122

□國香川氏当属梅月堂藏版。
蠖園集 全 門脇重綾編、門脇重雄
明治十一年（一八七八）刊 1冊 TY911.17X-329
飯田年平序（明治十年十二月）

- 123 柿園詠草 加納諸平著、阪本屋大二郎
 「嘉永六年（一八五三）」刊 2冊 TY911.17.Y-330.1-2
 飯田年平・小谷古蔭朱書。田中重太郎旧蔵書。
- 124 柿園詠草 加納諸平著、「綴田屋平右工門」
 嘉永六年（一八五三）刊 2冊 TY911.17.Y-331.1-2
 □廻屋能章、宮藤武宝库之章。印飯田年平・小谷古蔭朱書。
 （田中重太郎旧蔵書）。嘉永六年霜月廿三日加納兄瓶跋、柿園
 社蔵板。嘉永七年の後印本。「製本所／紀州若山新通三丁
 目／綱田屋平右工門」
- 125 柿園集 加納諸平詠、飯田年平編
 天保十一年（一八四〇）写（袋綴）1冊 TY911.17.Y-332
 序「天保十一年三月の中つころ河内国志紀郡はやし村伴林光
 平がもとにて飯田年平しるす」
- 126 別本柿園集 「加納諸平著」
 「天保十一年（一八四〇）以降」写（袋綴）1冊
 TY911.17.Y-333
- 127 柿園詠草拾遺 完 加納諸平著、飯田年平ほか編、飯田年平、
 足立正聲
 「明治十八年（一八八五）以降」刊 1冊 TY911.17.Y-334
 扉に蔵版印石園、桐園。明治十二年九月因幡飯田年平・紀伊
 瀬見善水序。明治十九年二月文玉圃吉川半七の広告紙あり。
- 128 詠草 嘉永六癸丑七甲寅年 加納諸平著
- 129 加茂翁家集抜書
 「嘉永六年（一八五三）」写（袋綴）1冊 TY911.17.Y-336
 内題「賀茂翁家集卷之三」「冠辞考序」「万葉解序」ほか。
 縣居落穂 賀茂真淵著、土屋祐学編、土屋祐学
 明治二十六年（一八九三）刊 1冊 TY911.17.Y-337
 明治二十六年末、春本居豊頼序。
- 130 六杉園集 小谷古蔭著、小谷芳蔭編、小谷芳蔭
 明治二十四年（一八九二）活版（結綴）1冊 TY911.17.Y-
 338 印あり。田中俊民序（明治二十三年十二月）、明治十
 二年（海宇）宮原 積跋。
- 131 小林大茂詠草 小林大茂著
 写（仮綴）5冊 TY911.17.Y-339.1-5
 山本メモ「大茂晩年の詠草であるが、旧詠も録して、何れも
 飯田年平の点を受け、それを綴って五冊に達した。年平尚徳
 館出仕の万延元年に始まり、翌文久元年眼疾により致仕後、
 熱心にして、慶応二年失明、慶応三年代筆。大茂自筆。眼疾
 後の筆意は特にすばらしいと森繁夫氏評」朱・墨合点。
- 132 写（原稿用紙）1冊 TY911.17.Y-335
 西乙葉写・井上豊太郎氏蔵本が御坊市の大水害で水損したた
 め、書写したものの。「このノート二十三丁以下の部分をして
 一冊としたものが正宗文庫にあり。それには『諸平翁詠草』
 とある。」

*紙幅の都合上、書簡編、近代資料編は次号に続けます。
本研究は平成二九年井上円了研究助成を受けたものです。
閲覧・調査研究にあたり、東洋大学附属図書館及び、鳥取県立図書
館・鳥取県立博物館、海上自衛隊第一術科学校教育参考館の方々に
ご協力いただきましたことを厚く御礼申し上げます。

KOKUGAKU and Sumi-Bunko: A list and study of Toyo-Bunko in Toyo University Library 1

OUCHI, Mizue

SUMI Yasuaki is waka poet in Tottori. Yasuaki and the whole families wrote a waka poem from generation to generation. And they collected books. Sumi-Bunko means it.

They learned the study of ancient Japanese thought and culture. The poetry was corrected by two waka poets, Tachibana Chikage and KINUGAWA Naga-aki. Chikage is Kamono Mabuchi's pupil, Naga-aki is Motoori Norinaga's pupil. This archives indicates their correction method.

A part of the Sumi-Bunko is stored up at Toyo-Bunko and is possession of Toyo University Library now.